

「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の採択と 「沼津市再生可能エネルギー導入目標及び 脱炭素ロードマップ」の策定(パブコメの実施)

要 旨

本市では、令和4年2月議会において、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ NUMAZU2050」を表明しました。この度、新たな取組により、地域の脱炭素社会実現へ向けて進んでいきます。

概 要

1 「ゼロカーボンシティ NUMAZU2050」実現に向けた新たな取組

① 「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の採択

◇総事業費 1,949,047 千円(国費 893,780 千円)

行政の太陽光発電設備導入や市民・事業者等民間に対する補助事業など、本市の「ゼロカーボンシティ NUMAZU2050」に向けた事業計画が、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」に採択されました。今回採択された計画を基に、2050年カーボンニュートラル実現に向け取り組んでまいります。… 別紙①のとおり

② 沼津市再生可能エネルギー導入目標及び脱炭素ロードマップの策定(パブコメの実施)

2030年までに集中して行う取組、施策を中心に、地域脱炭素の行程と具体策を示すロードマップの策定を予定していますが、その案がまとまったことから、パブリックコメントを実施します。

内 容 別紙②のとおり

実施期間 令和5年7月3日(月)～令和5年8月4日(金)

2 本件に関し、報道機関向けの説明会を開催します

日 時 令和5年6月28日(水)6月市長定例記者会見終了後

場 所 沼津市役所 4階 特別応接室

お問い合わせ先

沼津市役所 生活環境部 環境政策課

直通:055-934-4740

沼津市役所 政策推進部 政策企画課

直通:055-934-4704

「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」が採択されました ～ゼロカーボンシティ NUMAZU2050 の推進～

沼津市役所 環境政策課 ゼロカーボン推進室

市は本年4月末、行政の太陽光発電設備導入や市民・事業者等民間に対する補助事業などの「ゼロカーボンシティ NUMAZU2050」に向けた事業計画が、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」に採択されました。

今回採択された計画を基に、2050年カーボンニュートラル実現に向け取り組んでまいります。

1. 「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」とは

国が、「地域脱炭素ロードマップ」、「地球温暖化対策計画」等に基づき、民間と共同して意欲的に脱炭素に取り組む地方公共団体等に対して交付する交付金です。

2. 計画の主な内容

(1) 公共施設への太陽光発電設備導入

(2) 新築公共施設の ZEB 化

(3) 公共施設改修時の高効率空調機導入

(4) 市民を後押しするための補助制度
(ZEH、ZEB、ソーラーシェアリング)

ZEB(ゼブ)とは

施設に必要なエネルギーを省エネと創エネ(自ら創るエネルギー)で100%削減する。

ZEH(ゼフ)とは

家庭に必要なエネルギーを省エネと創エネ(自ら創るエネルギー)で100%削減する。

3. 事業期間

令和5年度～令和9年度

4. 事業費

総事業費 1,949,047 千円(国費 893,780 千円)

5. スケジュール

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公共施設の太陽光発電設備導入	●	●	●	●	●
個人・事業所の太陽光発電設備間接補助		●	●	●	●
事業所向け ZEB 間接補助		●	●	●	●
個人向け新築 ZEH 間接補助		●	●	●	●
ソーラーシェアリング間接補助		●	●	●	●
公共施設新築 ZEB			●		
公共施設省エネ改修				●	

沼津市再生可能エネルギー導入目標及び脱炭素ロードマップ(案) のパブリックコメントの実施について

沼津市役所 環境政策課 ゼロカーボン推進室

市では、令和4年3月に表明した「ゼロカーボンシティ NUMAZU2050」を実現するため、2050年までに必要な再生可能エネルギーの目標や省エネルギーなど地球温暖化対策による二酸化炭素排出削減見込量の目標を定めたロードマップの策定を進めています。

この度、ロードマップ(案)について、市民の皆様のご意見をいただくため、下記日程でパブリックコメントを実施します。

1. 概要(ロードマップの主な内容)

・市内の現状

温室効果ガス排出量の現状

・削減の目標

国が示すロードマップと同様の目標(2030年度までに実質排出量-46.0%(2013年度比)、2050年度までに実質0を目指す)

・具体的取組

再生可能エネルギーの普及、省エネルギーの推進、その他脱炭素施策の具体的な取組

2. パブリックコメントの実施

【実施期間】

令和5年7月3日(月)～令和5年8月4日(金)

【周知方法】

◇広報ぬまづ 令和5年7月1日号

◇縦覧(環境政策課、生活安心課、各市民窓口事務所、
市立図書館、市ホームページ)

沼津市再生可能エネルギー導入目標及び脱炭素ロードマップ (概要版)

1 ロードマップの目的

沼津市再生可能エネルギー導入目標及び脱炭素ロードマップは、「ゼロカーボンシティ NUMAZU2050」を実現するためのロードマップです。とくに2030年までに集中して行う取組、施策を中心に、地域脱炭素の行程と具体策を示しています。

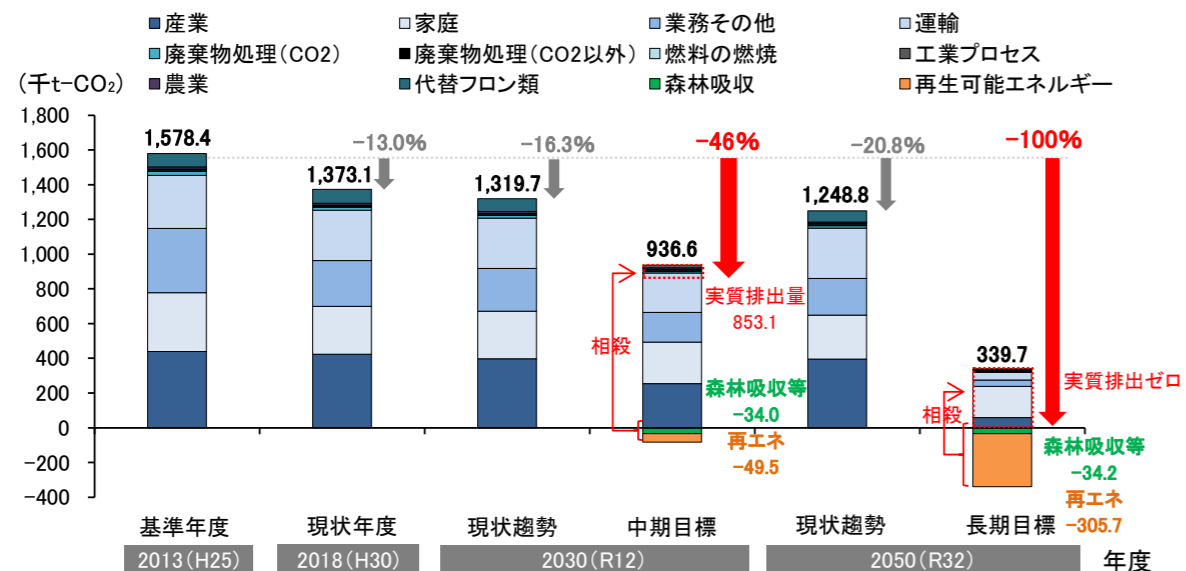
2 市内の現状

本市における2018年度の温室効果ガス排出量は1,373.1千t-CO₂で、2013年度の排出量(1,578.4千t-CO₂)と比べると13.0%減少しています。ガスの種類別では二酸化炭素がそのうちの92.5%を占め、排出部門別では産業部門の30.8%がもっとも多くなっています。

3 削減目標

人間が社会生活を営む以上、エネルギーは必要であり、そこから排出される温室効果ガスをすべてなくすことは困難です。温室効果ガスの排出量から、森林等による吸収量を差し引き、合計を実質0にすることをゼロカーボン、カーボンニュートラルと言います。

本市は、国と同様、2030年度までに温室効果ガス実質排出量-46.0%(2013年度比)、2050年度までに実質排出量0にすることを目標とします。



4 再生可能エネルギー導入ポテンシャル

本市の再生可能エネルギー導入ポテンシャルは多いが、現状の導入量は少ない現状にあります。

区分	導入ポテンシャル	単位	区分	導入実績量	単位	利用率		
太陽光	建物系	898.9	GWh/年	太陽光	10kW未満	27.0	GWh/年	4.7%
	土地系	349.0	GWh/年		10kW以上	31.9	GWh/年	
	小計	1,247.8	GWh/年		小計	58.9	GWh/年	
風力	陸上風力	609.8	GWh/年	風力	0.0	GWh/年	0.0%	
中小水力	河川	24.7	GWh/年	中小水力	0.1	GWh/年	0.4%	
地熱	バイナリー+低温バイナリー (53~120℃)	11.9	GWh/年	地熱	0.0	GWh/年	0.0%	
バイオマス	ごみ、林産系	159.4	GWh/年	バイオマス	0.0	GWh/年	0.0%	
合計		1,894.1	GWh/年	合計	59.1	GWh/年	3.1%	

5 実現のために必要なこと

ゼロカーボンの実現のためには、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの普及のほか、住宅や事業所、公共施設等建物の省エネ化、EV等次世代自動車の普及による脱炭素まちづくりを推進する必要があります。

6 具体的な取り組み

- 再生可能エネルギーの普及
 - 住宅、事業所、公共施設への太陽光発電設備の設置等
- 省エネルギーの推進
 - 建築物の省エネ化、高効率設備の普及、EVの普及等
- 二酸化炭素の吸収促進
 - 森林、緑地の保全、緑化推進等
- その他の脱炭素施策
 - 廃プラスチック、食品ロス等廃棄物の削減等